



総合人間自然科学研究科 高知大学大学院

修士課程 理工学専攻

【生物科学コース】

お問い合わせ先 修士課程 理工学専攻

高知大学学務部入試課大学院担当

TEL: 088-844-8154
FAX: 088-844-8147

所在地

〒780-8520 高知市曙町2-5-1

高知大学HP

<http://www.kochi-u.ac.jp>



交通案内

●高知龍馬空港から

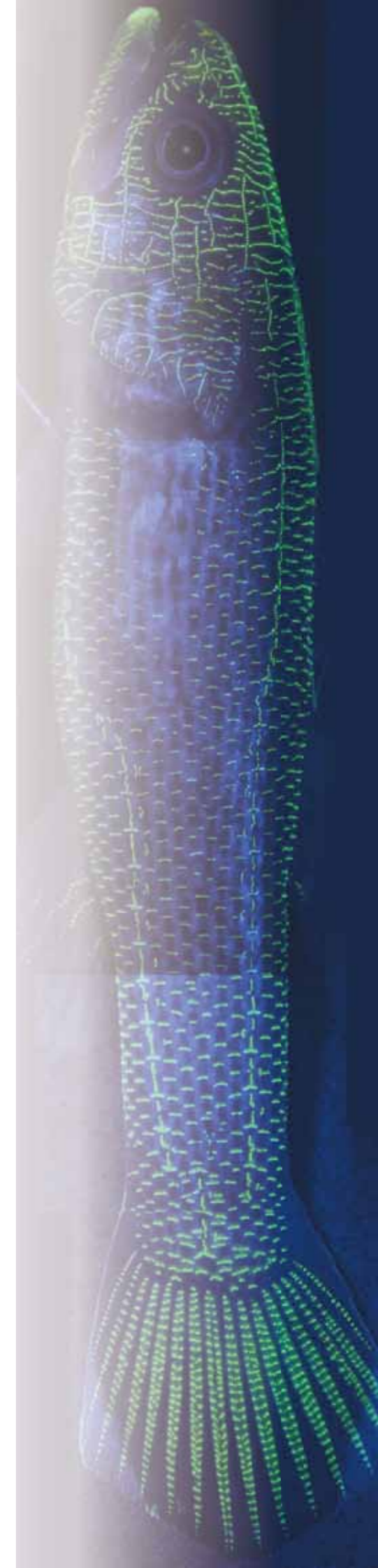
車で約45分
空港バスで約35分「はりまや橋」か、約40分「JR高知駅」下車→バス、路面電車またはJR土讃線へ乗り換えが必要

●JR高知駅から

車で約20分
バスで約25分
路面電車で約30分「朝倉（高知大学前）」下車
JR土讃線で約15分「朝倉駅」下車、徒歩3分
高知ICから車で約30分
伊野ICから車で約5分

大学院入試情報

<http://nyusi.kochi-u.jp/daigakuin>



高知で究める!生物の多様な世界

生物科学コースの教育方針

- 黒潮流れる太平洋から雲上の四国山地まで、自然豊かな南四国をはじめとした各地において、陸上生物、海洋生物、地質、古生物など、種々のフィールド・サイエンスに関する実践的教育を重視します。
- ・生物科学に関する幅広い観点から、さまざまな生物(藻類、蘚苔類、地衣類、種子植物、原生生物、無脊椎動物、昆虫、魚類、哺乳類など)を網羅した教育を行います。
 - ・塩基配列、アミノ酸配列やタンパク質機能の比較に基づき、酵素等の分子進化学を教育します。
 - ・最新の生物学的知識に立脚した古生物学や古生態系復元の要となる古環境学も教育します。
 - ・高知県立牧野植物園とも連携し、資源植物学や種子植物の分類学・地理学に関する教育を行います。

生物科学分野で学んだ学生は社会の様々な場で活躍しています。

就職先 (過去4年間)

経済産業省、鳥取県農林水産部、姫路市役所、高校教員(岐阜県)、株式会社ソフトサービス、一宮運輸株式会社、山崎技研、理研食品株式会社、株式会社サン・ダイコー、三島食品株式会社、株式会社エコー、林兼産業株式会社、四国ガス株式会社、株式会社伊予銀行、キンキ地質センター、(株)野生鳥獣対策連携センター、株式会社チャーム

進学先 (過去4年間)

京都大学大学院博士課程、高知大学大学院博士課程、高知大学理工学部研究生

大学院での生活に関すること

TA (Teaching Assistant) 活動を通じて生きた教育現場を経験することで、学生指導実務能力を身に着けることができます。

【実習】



【合同会社シーベジタブル】

2012年修了生が研究室の海藻生産技術に基づいて高知大学発ベンチャー会社を起業し、人口減少の激しい室戸市と安芸市で海藻生産施設を稼働させた。2019年現在、この地域で1億円産業を創出している。



は せ がわ ゆう や 応用自然科学専攻
博士課程 1年
長谷川 雄也

ゾウリムシやミカヅキモなどの肉眼では見えない小さな原生生物が織り成す生命現象について研究しています。光や温度など、原生生物が自然界より受ける刺激を実験室で再現し、それに対する彼らの反応を見ることはとても興味深いです。謎に包まれたミクロの世界にどっぷり浸かって、日々わくわくしながら実験しています。

しま だ ゆう と 応用自然科学専攻
博士課程 1年
島田 雄斗

研究領域・内容

あり かわ みき ひこ 生理学
原生生物学
有川 幹彦

原生生物は「細胞＝生命」であり、彼らが織りなす生命現象は生存に必須の細胞機能です。その分子機序解明を目指します。

えん どう ひろ みつ 魚類の分類学
系統学
形態学
遠藤 広光

おもに海産底生性魚類の分類や地域の魚類相に関する研究を行なっています。

ふじ かわ かず み 植物分類学
民族植物学
藤川 和美

キク科を中心とした分類学研究と、ミャンマーやヒマラヤ地域をフィールドとした資源探査を行っています。

ひ が もと き 植物生態学
比嘉 基紀

植物群落の組成と構造、植物の分布と環境要因の関係、植物の多様性保全について研究しています。

ひら おか まさ のり 海洋植物学
平岡 雅規

高知県の海藻資源の生態生理を研究し、その特性を活用して沿岸過疎地域で海藻生産の新産業を創出している。

か どう もと み 理論生物学
加藤 元海

山・川・海の生き物(ヒトを含む)や生命現象を対象にして

野外調査や論理的思考をと
おして研究しています。

こん どう やす お 古生物学
近藤 康生

貝類(軟体動物)に関わる古生物学的研究。特に、現生種が進化した時期やその背景、祖先種の特定を進めている。

まつ い とおる 植物分類学
蘚苔類学
松井 透

高知県産の蘚苔類を材料に、その分類、系統、生態、繁殖季節など、幅広い分野に関する研究を行っています。

まつ おか たつ おみ 動物生理学
分子生理学
光生物学
松岡 達臣

単細胞生物の休眠シスト形成や光応答といった環境応答機構の研究を幅広く行なっています。

みね いち ろう 藻類の細胞生物学
峯 一朗

巨大細胞性藻類の細胞壁の構造や力学的な性質と細胞成長の関連について研究しています。

みや け なお 古生態学
花粉学
三宅 尚

植物化石(主に花粉化石)に基づく第四紀の植生変遷、法花粉学的検査法や検査データの科学的解釈法の構築。

みず かみ はじめ 薬用植物学
水上 元

薬用植物の栽培、生物活性の評価、含有成分の分析、組織培養などの研究を行っています。

な ら まさ かず 生痕学
古生態学
堆積地質学
奈良 正和

堆積物や地層、そして、そこに含まれる生痕や生痕化石をもとに環境変動と底生動物の生態(古生態)との関係について考えています。

おか もと たつ や 地衣学
岡本 達哉

未解明の部分が多い地衣類を対象とし、分類、生態、四国地方のフロラなどに関する研究を行っています。

さい どう とも み 海洋生物学
斉藤 知己

土佐湾の豊かさの謎を解明するため、海洋・海岸環境と生物の多様性・資源変動に関する調査を行っています。

さ さ き くにお 魚類比較形態学
佐々木 邦夫

様々な環境に生息する魚類を対象に、主に神経系を観察し、環境への適応と系統進化の観点から研究をしている。

せき だ さと こ 細胞生物学
関田 諭子

藻類を研究材料として、細胞微細構造や細胞外被の形成と構造に関する研究を行っています。

せ お あき ひろ 生物地理学
植物分類学
瀬尾 明弘

分子情報をつかって島嶼などに生育する植物の地理的分布の変化について研究を行っています。

すず き とも ひこ 比較生化学
鈴木 知彦

様々な環境に生息する生物の酵素やタンパク質における分子レベルの適応について研究を行っています。

う だ こう じ 比較生化学
宇田 幸司

塩基配列やアミノ酸配列の比較による分子系統解析、タンパク質の構造と機能の関係やその進化に関する教育研究を行います。

うじいえ ゆり か 分子古生物学
氏家 由利香

単細胞真核生物の進化を解明するため、ゲノム・遺伝子発現解析による代謝機構や、化石情報を取り入れた分子系統地理などに関する研究を行っています。